

寄書

中山雅司

不平は或る意味に於ける興奮劑である善用すれば向上發展の基となり若し悪用すれば他人の感情を害するに俱に自己の失敗破滅を招く基となる蓋し不平は自己修養の足らざるより起りしかも人生の行路に前途の希望なきを示すものでこの不平あるが爲めに愉快に仕事を運ぶ事も出来ず快活に業務を執る事も出来ない、愉快を缺けば懶怠となり決活を失へば放縱となります、世間に見放され他人に排斥せらるゝは當然の成行である、但しこの不平なるものも天下國家に關する程の大事件に對するものならば偉人傑士の興奮劑となり懦夫をして起たしむる程の事ともなるが夫れさへ往々失敗の歴史を貽して不幸の結果を來し易いと言ふ事は事實の證明する所であるまして平凡の徒が不平を懷いて何の得る所がある

つまり不平は何人にもあるけれど唯之を口にするとせざるの區別あるのみで忍ぶと忍ばざるとの差違あるのみだ、グット腹の底に抑へつけて社會を相手に奮闘する者は不平の爲めに斃れずして更に奮勵一番その不平を凌駕する事が出来る若し一尺の不平があつたら十尺の雅量を以て之を撃退せよ、常に不平に超越し不平を追ひ退けて不平と離れて行く時に始めて人生安全なる地位を得る事が出来る

祝 發 刊

平 磐 城 銀 行
平町三丁目(電話)三三三番
平町三丁目(電話)一五四番

越 銀 行
平町三丁目(電話)三〇〇番

磐 城 實 業 銀 行
平町南町(電話)二〇五番

農 工 銀 行 平 支 店
平町三丁目(電話)四一四番

第 七 銀 行 平 支 店
平町三丁目(電話)三六八番

第 百 七 銀 行 平 支 店
平町四丁目(電話)三一八番

東 倉 銀 行
植田町(電話)三三三番

四 倉 銀 行
四倉町新町(電話)四七番

謹 告

今回常磐毎日新聞社經營の爲めいはらき新聞社平支局を退きましたか同社在勤中一方ならぬ御配慮を辱ふしました大方諸彦に對し厚く御禮申上ます、今後は微力を以て此難事業に身を處し粉骨碎身諸彦の御愛顧に報ゆべき覺悟で御座いますから何卒倍舊の御援助を賜り度く懇願致します

右は拜趨御挨拶申上ぐべきの處創業早々の事とて繁忙裡に没頭して居りますから略儀ながら紙上を以つて謹告致します

小鳥 川崎文治

讀書家新刊雜誌回讀

◇時代の潮流に裊らし豊富なる智識を吸収せんとする人は

即時御加入あれ

御希望の新刊雜誌を加入者の御家庭に配達し七日目毎に一冊宛を交換し一ヶ月中に五冊を閲覽に供す但冊数を減じ交換日を延ばす事を得

料 金 一ヶ月金壹圓以上の一冊或は倍大號等發行の月に限り多少追徴する事ある可し又月の中途加入者は日割或は冊數割とす

方 法 御加入される方は希望雜誌五冊を指定し住所氏名明瞭にハガキに御記入の上申込次第直ちに配本す

申 込 一ヶ月遅れの諸雜誌は御希望に依り五六割引にて分譲すべし

川崎巡回文庫

平町字長橋町三五
川崎巡回文庫

福島縣石城郡平町
字長橋町五番地
常磐毎日新聞社

定價 一部金貳錢
月極ニ限リ一ヶ月卅錢

廣告料五號十三字詰
一行五十錢

休刊日、日曜、大祭
祝日ノ翌日

發行兼編輯人
印刷人

川崎文治

發行所



十一月七日夕刊

門出の祝ひに

社長 川崎文治

而し現在私タツタ一人が常磐毎日新聞一切の業務を切り廻すのであるから徹底的な一社一人主義であります、私の毎日の仕事は確かに忙しい、而し忙しいが故に一層の張合を感じ弾力のある活動を試みる事が出来るのであります、私がタツタ一人で此難事業を初めたと云ふので先輩知己は非常に心配して呉れます先輩知己の激励の手紙や鞭達の間言葉がどれ程今の私を動か

すか知れませんが「君忙しいだらう、シツカリ遣り給へ」の一言を聞く時一種名状し得べからざる感激を受けます、目下千葉地方裁判所刑事部司法官候補の任にある門傳清吾君からも左の如き手紙が来て居る

「(前略)今更事新らしく論ずる迄もなく新聞紙事業の經營は吾人同類の共同生存上必要な向上的言論機關の一として最も權威あり尊重すべきものだと同時に之が目的の完成は難事の中の難事なる事世上既に定評の存する處であります、故に之が使

命を遂行せんとせば新聞紙の内容が自ら權威を存し尊重すべき事項であらねばならぬ、換言すれば其主義主張は正義人道に徹當し其報導は事相を誤まらざる事を基本とせねばならぬと思はれます、従つて之が經營者には當然隨伴する重大なる責任がある(中略)此點に於て川崎君は人格力量併存の稀に見る適格者であるから此際奮闘努力せられれば其處謂大使命を達成せらるゝ事蓋し當然の歸終である(後略)

(續)

細民階級の味方として 簡易診療處を設立

平醫師團の計畫

調査委員を擧げて各地視察中

平町醫師團にては一般細民階級の爲め簡易診療處を設立せんと調査委員に木村虎次郎、根本莊次郎、酒井國三郎、清水廣政、大森勇五氏を擧げ目下各地方に於ける同様の設備を調査研究中等であるが團員間に於て診療處設立の爲め巨費を投ずるよりは町役場の手を介して施療券を配付し醫院が患者を診療すべきが適切なる方法であるを力説する者あり或は實費を徴収するか無料施療するか等に關して未だ具體案の確立を見るに至らないが来る十二日酒井、清水の兩調査委員が縣醫師會に出席の途次福島、若松、郡山等に於ける簡易診療の状況を視察し來り更に協議を遂ぐる由

新嘗祭執行

石城各神社の

石城郡内に於ける縣社及び郷社にては左記日割に依り新嘗祭を執行する
(廿三日)中町子鐵倉同飯野八幡、下小川二侯(廿四日)錦村熊野、夏井村大國魂(廿五日)湯本町温泉、赤井村諏訪(廿六日)草野村愛宕、窪田村國魂(廿七日)飯野村佐麻久嶺草野村澤村(廿八日)鹿島村鹿島、神谷村出羽(廿九日)玉川村住吉(卅日)泉村諏訪

常磐片々

○ 醫者は仁術、平町に簡易診療處の計畫あり
○ 實費を徴収するか無料で施療するかが問題となつて居るらしい
○ 腹のへつた墓口は人に見ね様コソソリと口を開く尻ツビリ腰を見ても貧棒人の虚榮心理の一端を伺も得べし

○ タダ程安いものはないと知るも貧棒を看板に掛けねば

宙に迷ふ

未だ決定せず

石城憲派第四區の候補者は大野村長木田織江氏拒絶せざる爲め宙に迷ひ本日午前十

震災の影響が

平驛の數字に現る

貨物の發送が増して到着は減
震災地往來の乗降客激増

平驛去月中の運送状況を聞くに震災の影響にて物資逆輸出の状態である爲め貨物の發送噸數の如き四千七百廿九噸に達し昨年同月に比して千八百九十六噸の増加を示し木材米穀等の如き震災地に直交必要を感じつつある物資が増加の重なるものである、次ぎに到着貨物は供給地の東京が全滅した關係上昨年よりも五百廿七噸の減であるが夫れでも一萬五千四百六噸を呑んで居る、乗降人員は震災地との往復、關西地方への往來が漸繁である爲め乗客九萬三百卅八名あり昨年より一萬六千九百六十名、又降客は八萬千七百卅二名で昨年に比し一萬五千五百二十二名の各激増を告げたといふ

時頃から南町憲政俱樂部にて詮衡委員會を開き種々物色したが此稿を締切る迄には決定しない

社會課主催

神作興講演

郡議事堂にて
本縣社會課主催にて來月四日夜平町郡議事堂に精神作興講演會を開き文部省より贈られた震災ヒルムを映寫し入場料無料の由

石炭の山

貨車が廻らぬため

炭礦は休山同様
東部震災復興の爲め貨車配給は是れに全力を擧げた結果平驛其他各驛への配給極めて圓滑を欠き石城郡内の各炭礦は殆んど石炭輸送の途なく貯炭のみ山積し休山同様にて益々經營困難なる爲め近頃各炭礦は協同組合協議を遂げて何等か其筋に對する運動を開始する由

秋刀魚好況

昨日も大漁だ

磐城丸は去る四日海洋觀測のため出動歸途五日御崎東南東卅五哩に於て秋刀魚九千尾を漁獲し同夕刻小名濱に歸港したが潮流は南西に向ひ速力普通水色通常水温十七度半を示し今後好況の見込みである因に六日には江名濱にて五十五萬尾(見積價格一萬三千二百圓)小名濱にて十六萬四千尾(同二千四百廿四圓)の秋刀魚漁を見た

入つた形跡

隣縣警官の搜索

茨城縣多賀郡松原警察署巡查澤畑兼義同猿田熊五郎の兩氏は昨六日深夜私服に身を固め市内何へか向いたが仄聞する處に依ると右は最近茨城縣多賀郡某炭礦方面に於て行つた詐欺犯人搜索に關するものらしいと

酌婦愛子が

戀の苦悶から自殺

平町に避難し來つて
闇に咲く花の儂なき運命
昨夜七時頃平町字南町飲食店大越たかよ方にて同家の酌婦東京市牛込區原町生れ所愛子(二八)が自殺を企つ

は如何
斯くすれば貧棒人も簡易診療處の門をくぐるよりは肩身が廣くなる譯なり

石城教育義捐

石城郡
教育部會募集震災義捐金は二千卅四圓六十二錢五厘に達し本日送附の手續を了した

平町傳患數

平町傳染
病隔離舎に本日現在收容患者數は腸チブス三名、赤痢三名であるが何れも全治近し

伊藤巡查告別

平署より
東京震災後の警戒應援の爲の出張中であつた巡查伊藤鶴太郎氏は赤痢豫防に従事中感染死亡した爲め本日下午一時から大寶寺に於て告別式を執行した

平裁判だより

國大和田、控訴 平町字古銀治町磐城の實業主幹大和田與平は文書偽行使詐欺恐喝にて二年六箇月の懲役言渡されたが不服とあつて福高地方裁判所に控訴した
田村大字關田字町通精米業田村大字關田字町通精米業北郷徳兵衛(三五)は本年八月九日梨行商に來た小林子之吉の梨二貫目を理由なく

取上げた爲め行商妨害にて略式命令科料十五圓

鑑札を持たぬ 双葉郡浪江町大字權現堂古物商二階堂彌次郎(五五)は行商鑑札を携帯せずに古物の行商をなし同罰金廿圓

骨牌賭博罰金 石城郡入遠野村大字上根本字表丹野波吉(六〇)佐々木仁藏(六九)平子清政(三〇)目尾佐一郎(五〇)等は本年九月一日波吉方にて骨牌賭博を爲し清政は五十圓、其他は各卅圓

入山慘劇言渡 石城郡湯本町入山炭礦のロップ初断に依る慘劇事件の言渡は來る十日である